

眞宗大谷派

願興寺だより

第 87 号

2023年（令和5年）
8月1日発行

発行 者
願 興 寺

長岡市関原町1丁目1019
〒940-2035

TEL 0258-46-2316

FAX 0258-46-7499

<https://gankouji.org/>



巻頭言

先人たちからの願い — 寺を地域に開く —

「本堂の向拝幕（こはいまく）」

この度の歴代坊守年忌法要・

住職襲職奉告に合せて新調。

前護持会会長の小片勇氏により

御寄進をいただきました。



五月二十七日、二十八日にお

取越報恩講とともに、歴代坊守

年忌法要と住職襲職奉告が行わ

れました。住職襲職のお披露目

は、新型コロナウイルスの影響

により延期されていましたが、

この度、ようやく勤めることが

できました。

住職襲職奉告では、阿弥陀如

来の御前にて、住職としての誓

いを述べる敬白文というものを

読み上げましたが、その敬白文

の中で、「寺を地域に開く」と

いう言葉を引用させていただき

願興寺住職 高橋深恵

した。これは先代住職と坊守が

常々口にしてきた言葉であり、

その願いのもと、杉こだちコン

サートなど、門信徒以外の方々

から足を運んでいただくような

催しも行ってきました。しかし

この願いは先代住職たちだけで

なく、これまでの願興寺の伝統

でもありました。例えば、終戦

後まもなくお寺を会場に「日曜

学校」が開かれ、子どもたちが

勉強だけでなく、一緒に正信偈

の練習をしたり、地元の青年団

の人たちが本堂で演劇をしたり

と、地元に関かれた場所として
お寺がありました。

ある先輩の住職さんから「お

寺は、本来、あらゆる人々が集

うことができる開かれた場所

であるが、それを閉じようとして

いるのは、私たち住職の都合だ

と言われたことがあります。

つまり「寺を開く」というこ

とは、私自身の都合や思いと向

き合い、お寺のもつ本来の願い

に立ち返って、しっかり考えて

いくことなのだと思います。老

若男女を問わず、「寺離れ」が

叫ばれている昨今。お寺が置か

れている状況は厳しいものがあ

りますが、改めて坊守や門信徒

の皆様と共に、知恵を振り絞り、

先人たちが紡いだ願いを絶やさ

ないように努めていく決意を新

たにさせていただきました。



報告

二〇二三年お取越報恩講

今年のお取越報恩講は、五月二十七日、二十八日の二日間執り行われました。私は二十七日にお参りしましたが、この日は晴天の下、九ヶ寺の参勤を得てお勤めが行われ、五十四名の参詣者がお参りをしたのち、新潟市浄敬寺の中山善雄師の法話を拝聴しました。今年の報恩講は、歴代坊守年忌法要、住職襲職奉告を兼ねた大変重要な節目のお勤めとなりました。



報恩講のお勤めは、願興寺様と参勤寺院による大唱和が、精神のみならず体の中にも否応なく入り込んでくるほどで、広い本堂を揺らすかと思うほどの力強さを感じさせます。報恩講は親鸞聖人の教恩に感謝して営まれるもので、真宗門徒の最も大切な行事とのことですが、教え導かれた恩に対し今を生きる者として報いるということなのでしょう。

私は、十余年前に父が亡くなり、以来一年を通して法要には欠かさず出るようにしてきました。「この人はいつも来るな」と思われたのか、護持会の役員をせよとのこと、昨年からは新人役員としてベテランの皆さんの足手まといになっている次第です。そのため、以前は一人の参詣者として手を合わせるだけでしたが、今は法要の進行に合わせて役員としての役割をしながら、皆さんのお参りの様子を拝見しています。お一人お一人の手を合わせる姿に落ち着きを感じ、本堂に響く読経のなかでも静かな時間が流れているように思います。



余談ながら、大学時代に歎異抄研究会というサークルがありました。当時の私はほとんど関心を持ちませんでしたが、今は歎異抄を何冊か買い込んで、時々開いています。また、作家の五木寛之が『親鸞』という小説を書いていますが、今度時間を作って集中的に読んでみようと思っ

報告 大川公一（七日町）

(3)

仏事一口メモ

「御絵伝」について②

毎年のお取越報恩講では「御絵伝」と呼ばれる親鸞聖人のご生涯を描いた絵巻物が掛けられます。今回は「青蓮客殿」「得度剃髪」の場面です。

図の左は青蓮院の客殿で、松若麿（幼少の親鸞聖人）が伯父範綱卿と共に、慈円僧正と対面している場面です。

図の右は青蓮院仏殿にて、松若麿が得度式（僧侶になる儀式）を受けている場面です。出家して「範宴」と命名され、以後、二十九歳まで、ひたすら天台の教義をはじめ、あらゆる經典聖教について研鑽なされ、また横川楞嚴院の常行三昧堂で堂僧として不断念仏の修業をされました。後の親鸞聖人の強固な信念や広い学識はこの時期に培われたものであります。



*第二図【左】「青蓮客殿」
【右】「得度剃髪」

「親鸞聖人御絵伝」
一幅目二段 願興寺蔵

報告

お茶会

今年も六月十八日に願興寺茶会が開催されました。

流派や作法にとらわれず、誰でも参加できるお茶会をしたいという願いで、二〇一六年から始めた願興寺茶会も今年で八回目を迎えました。新型コロナウイルスをしながら工夫しつつ何とか続けて参りました。



毎年天気に恵まれるこの茶会ですが、今年はじつとしていて、とても暑い日となりました。各席十名ほどで四席、約四十名の方からご出席いただき大盛況でした。



十一月には結の会の茶会が願興寺を会場に開催されます。ぜひ多くの方々にご参加いただきたいものです。

ご案内
「結」の茶会

新潟県は神社・仏閣の多い所で、平安鎌倉時代から続くお寺もたくさんあります。昔から祈りと共に人々の心の拠り所で、誰でもが立ち寄れる癒しの場でもありました。

そのような願いから長岡市内のいくつかのお寺を会場に「結」の茶会が開かれます。

ありがたいことに願興寺も会場のひとつとしてお声がけをいただきました。せっかくの縁ですので、どうぞ一服のお茶をお楽しみいただき、日常を忘れる穏やかな時を楽しみませんか。



茶券のご案内

前売り券 800円
当日券 1000円

※お茶券（前売り）は願興寺にあります。お気軽にお問合せください。

【流派】宗徧流 桑原社中

【会場】願興寺 離れ座敷

【日時】11月5日（日）

午前9時～午後4時

【受付】8時30分

*お席の時間が記された受付札をお受け取りください。

各席四十分ほどで運営します。

混雑の予想される時間帯もありますが、受付札に記された時間

まで会場周辺を散策してお待ち

ください。

駐車スペースに限りがあるため、なるべく乗り合わせの上ご

来場くださいますようお願いいたします。

たします。

願興寺 秋の旅

赤倉温泉と有縁講の旅

「心が濁れば、行いも汚れ、行いが汚れると、苦しみを避けることができず、心を清め、行いを慎むことが人間としての要である」

仏教聖典より

今年下記の日程で、赤倉ホ

テルで開催される有縁講に参加

いたします。有縁講は法話を聞

き、温泉につかって、多くの人

たちに身や心を癒してもらいた

めに開かれる会です。

稲刈りなどの農作業もひと段

落して、年末の慌ただしさを迎

える前に、ゆっくり体を休める

ひと時となればと思います。



【期 日】2023年

11月22日（水）

～23日（木）

【参加費】1万2000円程度

*当日徴収します

【申込み】

お電話にてお申し込み下さい。

尚、車の関係で定員に達し次第

締め切りとさせていただきます。

ご了承ください。

(5)

この度、開催される「願興寺
開基600年・親鸞聖人750
回御遠忌法要」を記念して「願
興寺マルシェ」を開催いたしま
す。

マルシェとは「市場」という
意味で、複数の食料品や雑貨な
どを扱うお店が出店して開催さ
れるイベントです。

今回は新潟県内を中心に子育
て中のママたちが自分の得意分
野を活かしたハンドメイドマル
シェを開かれている「フォーマ
マ」さんにご協力をいただきま
す。「願興寺マルシェ」が若い
世代の方々にもお寺に足を運ん
でいただくきっかけになればと
思います。当日はキッチンカー
も来る予定ですので、ぜひご家
族ご友人とともにお越し下さい。



2023.10.22(日) 午前10時~午後2時
願興寺 庫裡にて開催



関原小学校などを臨時駐車
場としてお借りしております
が、駐車台数には数に限り
ございますので、お近くの方
は徒歩か公共交通機関でお越
し下さい。

ご案内
秋季彼岸法要、
永代供養墓合同法要

左記の日程にて秋季彼岸法要
が勤まります。併せて永代供養
墓「清風精舎」の合同法要を勤
めさせていただきます。

法要後にミニコンサートを予
定しております。ご多用中とは
存じますが、お誘い合わせの上、
お参り下さい。

日程 9月24日(日)	
午前9時	受付
午前9時半	永代供養墓合同法要
午前10時	秋季彼岸法要
午前10時半	ミニコンサート
正午	終了

*お斎(昼食)はお持ち帰り用
のお弁当をご用意いたします。

ご案内
永代経法要

恒例の永代経法要が左記の通
りお勤めされます。永代経法要
は亡くなられた方をご縁として
仏教の教えに耳を傾け、自分自
身の生き方を見つめ直す大切な
機会です。

ご多用中とは存じますが、お
参りいただきますよう、ご案内
いたします。

日程 11月12日(日)	
午前9時半	受付
午前10時	永代経法要
午前10時半	法話
正午	終了
	講師 未定

*お斎(昼食)はお持ち帰り用
のお弁当をご用意いたします。

上半期行事報告

2023年1月～2023年6月

- | | |
|---------|--------------------|
| 1月1日 | 修正会 |
| 2日 | 年頭法会 |
| 4日 | 寺年始 |
| 16日 | 清掃奉仕 |
| 18日 | 初めてのヨガ教室 |
| 2月1日 | 総代責役会 |
| 2日 | 前坊守祥月命日 |
| 12日 | 会計監査 |
| | 第1回役員会 |
| 16日 | 清掃奉仕 |
| 21日 | 初めてのヨガ教室 |
| 3月5日 | 新旧世話方会議 |
| 15日 | 初めてのヨガ教室 |
| 16日 | 清掃奉仕 |
| 4月19日 | 初めてのヨガ教室 |
| 24日-26日 | 東本願寺慶讃法要
団体参拝旅行 |
| 5月16日 | 清掃奉仕 |
| 17日 | 初めてのヨガ教室 |
| 21日 | 第2回役員会 |
| 27日-28日 | お取越報恩講 |
| 29日 | 前坊守祥月命日 |
| 6月13日 | 初めてのヨガ教室 |
| 16日 | 清掃奉仕 |
| 18日 | 願興寺お茶会 |

下半期行事予定

2023年7月～2023年12月

- | | |
|--------|------------------|
| 7月11日 | お経会① |
| 16日 | 清掃奉仕 |
| 17日 | 第3回役員会 |
| 25日 | 初めてのヨガ教室
お経会② |
| 27日 | 盆参 講師 永寶 卓師 |
| 8月1日 | 盆参 講師 佐々木恵一郎師 |
| 7日 | 盆参 講師 今泉温資師 |
| 8日 | お経会③ |
| 13日 | 盂蘭盆会 (~16日) |
| 18日 | 墓地清掃 (お盆片づけ) |
| 22日 | お経会④ |
| 29日 | 初めてのヨガ教室 |
| 9月5日 | お経会⑤ |
| 16日 | 清掃奉仕 |
| 19日 | お経会⑥ |
| 24日 | 秋季彼岸・永代供養墓合同法要 |
| 27日 | 初めてのヨガ教室 |
| 10月3日 | お経会⑦ |
| 10日 | 初めてのヨガ教室 |
| 16日 | 清掃奉仕 |
| 17日 | お経会⑧ |
| 31日 | お経会⑨ |
| 11月12日 | 永代経法要 |
| 14日 | お経会⑩ |
| 15日 | 初めてのヨガ教室 |
| 16日 | 清掃奉仕 |
| 22日 | 赤倉ホテル有縁講 (~23日) |
| 12月初旬 | 第4回役員会 |
| 12日 | 初めてのヨガ教室 |
| 16日 | 清掃奉仕 |
| 31日 | 除夜の鐘 |

「願興寺開基600年・親鸞聖人750回御遠忌法要」



2024年(令和6年)5月26日(日) 厳修

*詳細については随時お知らせいたします。

おくやみ

令和四年十一月〜令和五年六月

ご生前のご功労を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

二〇二三年(令和四年)

- 十一月二十四日 青葉台
- 佐藤友子 九十歳
- 十二月三十一日 関原西町
- 井上正二 四十四歳

二〇二三年(令和五年)

- 一月三日 関原南
- 小片良之助 八十一歳
- 一月八日 関原三
- 栗林キヌ 九十歳
- 一月十四日 関原二
- 荒木キエ 一〇〇歳
- 一月十八日 油田
- 丸山ミツイ 九十四歳
- 一月二十一日 関原二
- 荒木信一 六十八歳
- 一月二十三日 関原一
- 佐藤ミツイ 九十四歳

- 一月二十九日 上除
- 丸山百合子 七十一歳
- 一月二十九日 大積善間
- 原称久 七十歳
- 二月二日 関原一
- 山田榮子 八十九歳
- 二月二日 三島谷
- 山田康男 七十三歳
- 二月四日 高頭
- 高木正子 九十二歳
- 二月六日 関原町
- 原隆 八十九歳
- 二月七日 三ツ郷屋
- 風間ミツ 九十三歳
- 二月八日 希望ヶ丘
- 瀧澤千恵 九十一歳
- 二月九日 福戸
- 廣川ヒサ 九十二歳
- 二月二十一日 古正寺
- 神林ヌミ 九十六歳

- 二月二十二日 関原一
- 荒木洋一 八十歳
- 三月二日 大山
- 井上智 九十八歳
- 三月八日 関原二
- 清水美代 八十八歳
- 三月十三日 七日町
- 大川マチ 九十三歳
- 三月十八日 水道町
- 丸山孝 九十二歳
- 三月十九日 東方町
- 原シズイ 九十三歳
- 三月二十一日 関原南
- 丸山益雄 八十四歳
- 三月十九日 上除
- 長部敬一 八十九歳
- 三月二十一日 上除
- 太刀川清喜 八十七歳
- 三月二十九日 上条町
- 若月八重子 八十二歳
- 三月三十日 関原南
- 池津登志男 八十四歳
- 三月三十一日 大積千本
- 丸山敏 六十八歳

- 四月三日 大島
- 高野ミチノ 九十一歳
- 四月六日 別山
- 若月廣治 九十三歳
- 四月十五日 豊田町
- 佐藤静男 九十四歳
- 五月四日 脇野町
- 樺澤光次 八十三歳
- 五月十七日 上除
- 山田三郎 一〇〇歳
- 五月二十四日 堺
- 長谷川好文 七十四歳
- 六月十日 宮栄
- 清水貢 九十二歳
- 六月十七日 堺
- 長谷川信夫 七十四歳
- 六月十八日 油田
- 丸山幸則 七十九歳
- 六月二十四日 三ツ郷屋
- 大川ミサ子 九十五歳
- 六月二十四日 関原三
- 藤塚 功 六十二歳

願興寺開基六〇〇年

親鸞聖人七五〇回御遠忌法要

お稚児さん募集



令和6年5月26日(日)
午前8時30分~11時

参加対象

3才から小学生の男女

歩けないお子さまも保護者の抱っこで参加できます
願興寺門信徒以外のお子さまも参加できます



参加費用

1000円 (稚児衣装代、着付け費用として)

当日の集合時におつりのないよう係の者にお渡し下さい

各自ご用意していただくもの

- ・白い靴下 (ワンポイント等は大丈夫です)
- ・稚児衣装の下はTシャツ等の肌着をご用意下さい。
- ・履物はスニーカー等、歩きやすいもので結構です。
- ・引率される大人の方もジャケット等、フォーマルの服装をお願いします

注意事項

- ・願興寺敷地内に駐車場はご用意してありますが数に限りがございます。お近くにお住いのかたは徒歩または自転車等、公共交通機関でお越し下さい。
- ・詳細につきましては、申し込み受付をされた方に追ってご連絡をさせていただきます。

jihizan-gankouji@m2.nct9.ne.jp



申し込み期限 令和6年3月末日まで 参加定員に達し次第受付終了です。ご了承ください。

編集後記

早いもので、今年も半年がすぎあつという間にお盆を迎える時期となりました。

今年の一月から始めた新たな試みの清掃奉仕ですが、暖かくなるにつれありがたい事に少しずつ参加者の方が増え、毎回レベルアップした活動が出来てきています。参加者のみなさんからお掃除のコツなど教えて頂いたり、道具の扱い方を教えて頂いたり、住職も私も毎回みなさんからたくさん学ばせて頂いております。

亡くなられた小片前護持会会長が「寺はみんなのものだ」と常々言っておられました。この清掃活動を通して、少しでも皆さんにとってのお寺が身近感じてもらえたらありがたいです。

編集委員 高橋智美

